

日本初戦 独に金星



日本-ドイツ 後半、同点ゴールを決め駆け出す堂安律(下)。GKノイアー=23日、ドーハ(共同)

【ドーハ共同】サッカーのワールドカップ(W杯)カタール大会第4日は、ドーハのハリファ国際競技場などで1次リーグが行われ、E組の初戦で世界ランキング24位の日本が、同じ11位で優勝4度の強豪ドイツを2-1で破る金星を挙げた。GK権田修一(清水)の反則からのPKを先制を許し、前半を0-1で折り返したが、後半に堂安律(フライブルグ)、浅野拓磨(ポーツム)のゴールで逆転。大舞台で奮闘を演じる最高のナイトを切った。(8、9、10、25面に関連記事)

堂安同点、浅野が決勝弾



ドイツからは初勝利で、通算成績は1勝1分け1敗。W杯で優勝経験国と対戦するのは3度目、初めて勝った。

▽1次リーグ	ドイツ
日本	2-1 (0-1)

「ドーハの悲劇」から29年

冬のドーハは、冷たい風が吹き、高い空の雲がゆっくりと流れる。「『霞霧水』の気持ちは変わらない」。か、初出場を目前に迎えたドイツは、日本代表を率いる森保一監督(54)の表情はいつも穏やかだった。1日のワールドカップ(W杯)カタール大会メンバースタッフで心機を配した四角錐は、物事を執着せずに自然の成り行きに任せることを意味する。この境地は、20年前の出来事は、無縁ではないはず。

森保一監督が率いる日本の選手は史上最多の19人、大会優勝7度目の出場。1993年日本がW杯初出場を逃した「ドーハの悲劇」の舞台で、過去最悪な「次を終わるか。崖っぷちに立たされ、動揺するスタッフもいる。中、昨年10月12日のオーストラリア戦で起死回生勝利。吉田麻也(名古屋)は悪くなった時にふられてしま。監督は、ふれなかった。振り返る。絶望打ちひしがれた因縁の地に、26人のサムライ杯優勝経験国に挑む1次リーグは、日本サッカーの29年の歩みを示す絶好の場になる。(ドーハ時事)

①同点ゴールを放ったのはだれですか

選手 = 市出身、小学に通った時代、

②決勝弾を放ったのはだれですか

選手

③見出しの「金星」とはどんな意味ですか

④日本が歴史的勝利をおさめた理由を2つあげましょう

日本 ドーハの歓喜



ドイツに逆転勝ちし、円陣を組み大喜びの日本代表ら（ドーハ 共同）



過去の苦い経験は、この瞬間のためにあったのかも知れない。サッカーのワールドカップ（W杯）カタール大会1次リーグE組初戦で日本がドイツに2-1の

逆転勝利を挙げた。歴史的な瞬間に、選手たちは涙を流し、抱き合ったり、抱き合ったりして喜びを表現していた。歴史的な瞬間に、選手たちは涙を流し、抱き合ったり、抱き合ったりして喜びを表現していた。

逆転勝利を挙げた。歴史的な瞬間に、選手たちは涙を流し、抱き合ったり、抱き合ったりして喜びを表現していた。

ドイツに2-1 森保監督「歴史的勝利」

【ドーハ共同】サッカーのワールドカップ（W杯）カタール大会1次リーグE組初戦でドイツに2-1で逆転勝ちし、大金星を挙げた日本の森保一監督は23日試合後の記者会見で、歴史的瞬間、勝利であると言っても過言ではないと誇らしげに語った。（6ページに関連記事）

E組のもう1試合は、スペインがコスタリカに7-0で大勝した。同組2位の日本は27日のコスタリカ戦に勝って、スペインがドイツに勝つか引き分けると16強以上の決勝トーナメント進出が決まる。

重要な初戦で決勝ゴールを決めた浅野拓磨（ポーツムタ）は「思い切ったシュートを打った結果」と大仕事を振り返った。

戦前の大方の予想はW杯優勝4度を誇る強豪ドイツが優位だったが、後半の

逆転勝利はサプライズ（驚き）になると思っていた。日本サッカーのレベルは世界に近づいている」と強調した。

逆転勝利はサプライズ（驚き）になると思っていた。日本サッカーのレベルは世界に近づいている」と強調した。

格上相手に逆転W杯で初

歴史的な番狂わせを演じたW杯通算6勝目にして、初の逆転勝ちだった。

歴史的な番狂わせを演じたW杯通算6勝目にして、初の逆転勝ちだった。

歴史的な番狂わせを演じたW杯通算6勝目にして、初の逆転勝ちだった。



後半、同点ゴールを決め板倉滉と喜ぶ堂安律（中央左）（ドーハ 共同）

五輪の悔しさばねに

初陣ドイツ戦で反撃ののろしを上げたのはビッグマウス堂安律（24）だ。後半から途中出場し、日本代表のカタール大会初得点となる同点ゴール。切れるあるドリブルや強力なシュートで日本代表の攻撃にリズムをもたらした。俺が決める、俺しかないという強い気持ちでピッチに入った。

2番目の兄（26）とは公園で一緒にボールを蹴り合った。1対1の勝負は利なはずなのに、堂安は勝つまでやる」と何度も挑んだ。

大舞台カターールで目指すのはベスト8以上ではなく優勝。次戦に向け気を吐いた。「日本サッカーを盛り上げるって気持ちでピッチに立っている。皆さんぜひ、期待してほしい」

堂安 同点弾「俺しかない」

尼崎市で3人兄弟の末っ子として生まれた。小学校時代に通った西宮サッカースクールの杉田隆正会長（47）は「試合では先輩がいなくても構わない。絶対パスせず最後まで自分で行く子だった」と振り返る。

2021年の東京五輪はエースナンバーの10番を背負いチームを引っ張った。3位決定戦でメキシコに敗れた1年後の今年8月、自らのSNS（交流サイト）には「未だに怒りさえ覚えるくらい鮮明に覚えています。まだまだ成長して活躍したい」とこの日の悔しさは晴れへんかな」と投稿した。

逆転勝利はサプライズ（驚き）になると思っていた。日本サッカーのレベルは世界に近づいている」と強調した。

（ドーハ 共同）

NIEワークシート／小学校高学年

なまえ【 】